



CHRONOS

<http://www.chronos.jp/>

機械式時計メンテナンスブック Maintenance Book

ごあいさつ

このたびはブライトリング専門館クロノスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

お客様の大事な時計を末永くご愛用いただけますように、このメンテナンス冊子をご活用頂ければ幸いです。

機械式時計についての基礎知識や扱い方について少しでもご参考いただき、日々のメンテナンスに活かしていただければ、スタッフ一同非常に有難く存じます。

株式会社 生々堂クロノス スタッフ一同

1

目次 Contents

ごあいさつ	P 1
目次	P 2
時計の扱い方について	P 3,4
機械式時計の仕組みについて	P 5,6
日差について	P 7,8
防水性について	P 9,10
オーバーホールについて	P 11,12
アフターサービス、弊社概要	P 13,14

2

時計の扱い方について

Point 1: 時計の置き方

時計を着用されないときはできるだけ下記のどちらかの向きに置いてください。といいますのは、クォリティチェックの段階で この向きで置かれている場合が多く、この向きで置いておくと日差が一番小さくなるといわれているからです。

A. 時計を水平に置かれる場合

…文字盤を上、裏蓋を下にする向き

B. 時計を傾けて置かれる場合

…時計を横に立て、
リューズの反対側を下にする向き

3

Point 2: 衝撃は避けてください

落としたりぶつかけたりされないように気をつけていただくのはもちろんのこと、スポーツ等をされるときには必ず外すようにして下さい。野球、ゴルフ、テニス等の打撃の際の衝撃は、機械式時計にとっては落下したときと同じくらいのショックを受けてしまいます。

Point 3: お手入れはからぶきで

ケースの汚れや汗などは、乾いたやわらかい布や眼鏡拭きクロスなどで、やさしく拭き取ってあげてください。

Point 4: 逆回りにならないように

時計は基本的に右回り(時計回り)に作動するように作られていますので、日付や時刻を調整される際には左回り(逆回り)にならないように気をつけてください。

4

機械式時計の仕組みについて

機械式時計はぜんまい仕掛けの歯車が時を刻み針を動かします。

ネジでぜんまいを巻いて使う手巻きと、腕の動きが自動的にぜんまいを巻き上げる自動巻きの2つのタイプがあります。

手巻きはリューズを回してぜんまいを巻き上げます。一方、自動巻きは機械の中心軸にとりつけられた回転錘(ローター)が腕などの運動により回転して自動的にぜんまいを巻き上げます。

5

Point 1: ゼンまいは毎日決まった時間に

40回ほど巻くようにしてください。

自動巻きの場合は、大体12時間つけていると巻き上がりますが、手巻き・自動巻きともに、狂いを少なくするためにつける前に十分巻いておくのがよいでしょう。

Point 2: 毎日夜の8時から翌朝4時くらいまでは

カレンダーの早送りをしないで下さい。

その時間にカレンダーの数字を動かすための歯車がゆっくりと噛み合い始め、カレンダーが変わった後もゆっくり離れていくようになっているのです。この時間に早送りをすると歯が無理に送られて、故障の原因となる恐れがありますのでご注意ください。

カレンダーが12時ぴったりに変わらないのはこの仕様のためですので、心配されなくても大丈夫です。

6

Check !: 時計の日差が多いとき

- ・ リューズを普段から十分に巻き上げておられますか？
- ・ 正しく時計を置かれていますか？
(裏蓋が下の状態、リューズの反対側が下の状態)
- ・ オーバーホールした日がずいぶん前ではありませんか？
- ・ 生活スタイルに変化はありませんか？
(腕の動きや姿勢差によって精度が変化します)
- ・ 磁気の強いところに時計を置いていませんか？
(テレビなどのそばには置かないようにしてください)
- ・ 落下などで強い衝撃が与えられたことはありませんか？

8

Check !: 時計を水から守るために

- ・ ねじ込みロック式リューズのねじはきっちりと締めるようにしてください。
水の浸入を防いでくれます。
- ・ 時計やプレスレットを洗うときでも、リューズやプッシュボタンなどに勢いよく水がかからないようにしてください。
防水能力以上の水圧がかかることがあります
- ・ 水中や濡れた状態ではクロノグラフのプッシュボタンは押さないで下さい。
時計のケースの中に水が入ってムーブメントや機能の故障の原因となることがあります。

10

日差について

機械時計は腕の運動量の多さや温度、クロノグラフを使ったかどうかなどのいろいろな条件から、日によって精度(時の刻みの正確性)が微妙に異なります。普段の装着ポジションや保管位置によって、また巻き上げの量などによっても日差の違いが生まれてきます。

ですから、その時計の本当の調子というものは1日の計測差では一概には言えない部分があります。

そのため日差を測られる場合は、1日より1週間で平均して何秒ずれるかを計測し、目安としてください。平均日差はだいたい一日±15秒ぐらゐまででしたら、機械時計の精度の許容範囲といえます。

7

防水性について

- 30m防水・・・ 一般的に日常生活防水といわれます。
雨に濡れたり、誤って水がかかる程度はOKです。
- 50m防水・・・ 洗顔など水道の水にかかる程度です。
時計を水に入れることはお避け下さい。
- 100m防水・・・ 基本的にはプールに入っても大丈夫ですが、本格的なダイビングなどの際には、水深にご注意ください。
- 200m防水以上・・・ 水泳・ダイビングもOKです。
定期的に防水テストを受けてください。

水の勢いなどによって水圧は変化しますので、時計には防水能力以上の負担がかからないように気をつけてください。

9

オーバーホールについて

オーバーホールは機械時計の定期検査です。

時計も車の車検のようにオーバーホールが必要です。技術者が何百という数の部品を全部ばらし、油の汚れを洗浄して、もう一度、組み立てなおしてくれます。



11

定期的なオーバーホールがあつてこそ、
機械時計は永遠に時を刻み続けることができます。

時計によって差はありますが、オーバーホールに出す
時期としては、大体3年に1回が目安です。毎日働き
つづける機械時計に3～4年に1回休暇をあげるこ
と、それが"オーバーホール"です。

大事にしまつておく時計もたまには動かす必要があります。
ずっと動かさないいと、かえつて油が固まつてしまふこ
とがあります。

コレクションとして保管されている時計なども
定期的なリユーズを巻いて機械を動かしてあげましよう。

12

時計の故障について

これまでのページのメンテナンス方法でも
どうにもならないケースや修理が必要と感じられた場合、
弊社のアフターサービスをご利用くださいませ。

保証書に記載されている規定に準じますが、保証期間内には
無償にて修理させていただきます。

また、保証期間が経過した場合有料とはなりますが、
弊社アフターサービス部にて、できる限りリーズナブルな
お値段で修理させていただきます。

なお、アフターサービスの対象は当店で購入された
ブライトリングのみとなりますのでご了承ください。

13

弊社概要

株式会社 生々堂 クロノス
〒525-0034 滋賀県草津市草津2丁目10番26号
TEL: 077-567-6011
FAX: 077-567-6022

E-mail: info@chronos.jp
URL: <http://www.chronos.jp>

お客さまの幸せな"時計のある生活"を
今後もサポートさせていただきます。

クロノスへホームページへの
またのお越しを楽しみにお待ちしております。

14